

石川県生協連だより

第113号

石川県生活協同組合連合会

〒920-0362 金沢市古府2-189
コープしかわ古府センター2F
TEL.076-259-5962 FAX.076-259-5963
http://ishikenren.jp

発行日/2025年3月25日
発行責任者/大谷 学



懇談会に先立ち挨拶する大谷会長理事



挨拶される生活安全課 村田 敦 課長



県の取り組みについて説明される
カーボンニュートラル推進課
折戸 吉朗 課参事兼課長補佐

行政懇談会では、厚生労働省および石川県による検査における指導事例の説明、カーボンニュートラルを巡る状況と石川県の施策についての説明、各会員生協の環境活動の取り組みについて報告がありました。

石川県は家庭から排出される温室効果ガスの割合が全国に比べて高い状況ですが、2050年までに県内の温室効果ガス排出量の実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指し、取り組みが進められています。

2024年度 石川県生協連行政懇談会
日時 2025年1月24日(金)
会場 石川県地場産業振興センター

カーボンニュートラルの取り組みについては、活発な意見交換がされ、環境への関心が高まっていることを実感しました。

また、地球温暖化への対策は、温室効果ガスの排出を減らしていくだけではなく、温暖化が進んでも安全に生活できるような災害に備え、環境に適應できるように工夫することも必要だということを学びました。

懇談会後は「いしかわエコハウス」を見学し、省エネ・創エネ住宅で冬でも暖かく快適な室内を体験できました。

(石川県勤労者共済生協
鶴山 香央里)



エコハウスでの次世代エネルギー水素の発電体験の様子

令和6年能登半島地震

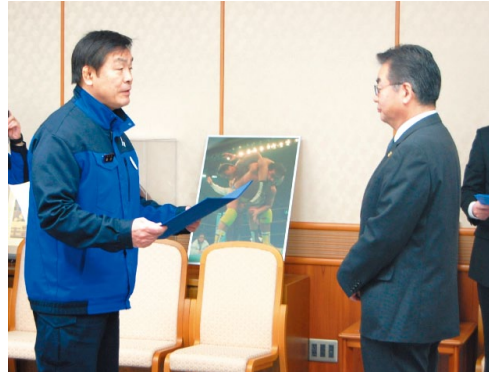
石川県へ新たに4億6,500万円を贈呈

日本生活協同組合連合会と石川県生活協同組合連合会は、1月9日(木)、令和6年能登半島地震で被災された皆さまの暮らしの再建と、能登の復興活動を支援するため、全国の生協から寄せられた災害支援募金より4億6,500万円を石川県に贈呈いたしました。



左から)日本生協連 土屋代表理事会長、馳県知事、石川県生協連 大谷会長理事(コープいしかわ理事長)

コープいしかわをはじめ全国の生協では昨年の地震発生直後から「令和6年能登半島地震災害支援募金」を呼びかけ、昨年6月には10億円の



1月9日 県庁にて行われた目録贈呈式の様子

義援金を石川県に贈呈いたしました。今回の贈呈は、昨年に続き2回目となります。

石川県庁で執り行われた贈呈式では、日本生活協同組合連合会土屋敏夫会長から馳石川県知事へ目録をお渡しし、知事より感謝の言葉をいただきました。

今後とも被災地に寄り添い、全国の生協や各種団体と連携しながら、被災された方が一日でも早く日常生活を取り戻せるよう、息の長い支援活動を継続していきます。(コープいしかわ 佐々木智二)

第65回 石川県防災総合訓練に参加

日時 2024年11月10日(日)

開催場所 津幡町一円

県防災総合訓練は、気象庁から「顕著な大雨に関する気象情報」が発表され、8時に森本・富樫断層帯を震源とする地震が発生、津幡町で震度6強が観測されたとの想定で実施されました。石川県生協連では、災害時における生活必需物資の供給に関する協定に基づき、訓練に参加しました。



緊急物資輸送車に乗り込むコープいしかわ参加者

救援物資陸上輸送訓練

コープいしかわ、生協連が参加し、県備蓄倉庫(旧西高体育館)から県の広域物資拠点(石川県産業展示館)へ救援物資を届けました。

県トラック協会、日本通運(株)に引き継ぎ、津幡町物資集配拠点及び避難所の条南小学校へ届けられました。

【訓練に参加して】

コープいしかわ 中川 佳奈
初めて訓練に参加しました。県や町の職員の方と3つの組織が連携して物資を体育館から避難所へ輸送する訓練内容でした。訓練をすることで、本当に必要な時のために、実際は何かが必要か、起きうるかを想定し対策も立てることもできるのだと改めて感じ、一人ではままならないことでも、みんなと一緒に動くことができ、支え合えることにつながり、地域や周りがあるような意識を普段から持てる安心も大切だと感じました。

こども防災訓練

石川県

勤労者共済生協は、VRゴーグルによる災害体験と防災クイズを実施しました。



馳県知事にVRゴーグルの説明をする共済生協担当者

2024年 協同組合学習交流会

日時 2024年11月22日(金)
会場 石川県農業会館6階大ホール

J A、漁協、森連、生協の4つの協同組合から63名が参加し、協同組合間連携を目的に学習交流会を開催しました。



基調講演講師の福谷理事長

各協同組合から「能登半島地震からの復旧・復興に向けた実践報告」を行い、その後、基調講演として石川県防災士会理事長 福谷正信氏から「地震への備えー命を守るための日頃の備えー」をテーマに講演いただきました。グループ討議では基調講演を受けて、DIG(災害図上訓練)を実施しました。



実践報告の様子
コープいしかわ 佐々木執行役員の報告



グループ討議で災害図上訓練を実施



参加者アンケートから、「気持ちと新たな発見があり、防災意識が高まった。平時からの備えや情報収集の必要性を感じた。」との感想が聞かれました。

第54回 石川県消費者大会

日時 2024年11月8日(金)
会場 石川県地場産業振興センター及びオンライン
テーマ 「正しい食事運動療法で健康寿命を延ばそう」
主催 石川県消費者大会実行委員会

第54回石川県消費者大会は金沢大学教授・医学博士の米田隆氏を講師に、会場参加81名、オンライン23名が参加し開催しました。



講師の米田教授

米田教授からは「健康寿命と寿命の格差をなくすには、高血圧、肥満を予防し、筋力の低下を防ぐことが大事。食事でたんぱく質を充分に摂ると、筋力アップやバランス力向上につながり、血糖値も抑えることができる。また、

ゆっくり時間をかけて食べることで血糖値の上昇を抑えることができる」と健康的に生活していくためのアドバイスをいただきました。

県内事例報告として、北陸学院大学健康科学部栄養学科教授・管理栄養士の田中弘美氏は「小児期、青年期、中年期、高齢期に適した食事を1日3回規則正しく食べることが大切。栄養のバランスを考えた食事は成長の発育、健康の維持に欠かせない。健康長寿のためにはタンパク質、カルシウムを摂り、免疫力アップの食事を心がけ、フレイル予防へギアチェンジする必要がある」と話されました。



石川県消費者大会は、今回を以って終了することとなりました。

◆金沢医療生協

能登半島地震被災地支援など近況の活動について

新型コロナウイルスも「5類」に移
行したとはいえコロナが収まったわ
けではなく、感染対策を取りながら
の組合活動を余儀なくされています。

会場が診療所の保健委員会などは
コロナ以後開催されていないが、支
部委員会や班会などが少しずつ取り
組まれてきています。そんな中で平
和委員会の「歌声喫茶」等は感染対
策を取りながらコロナ3年目から2
か月に一度開催。閉じこもりがちだ
った組合員さんから喜ばれています。
原水爆禁止世界大会には3人派遣
しました。



世界大会広島 禎子像の前で記念撮影



仮設住宅での健康カフェ(ポッチャ体験)

2024年は何といつても1月1
日の能登半島地震、地域の組合さん
を訪問し被害状況の調査、全国の医
福連の仲間とともに能

登町や輪島、珠洲への
被災地支援に取り組み
ました。遅れる復興の
上に豪雨災害にも見舞
われ、胸が痛む現実を
目の当たりにし、一日
も早く元通りの生活を
と願わずにはいられま
せん。

(金沢医療生協
理事長 近松美喜子)

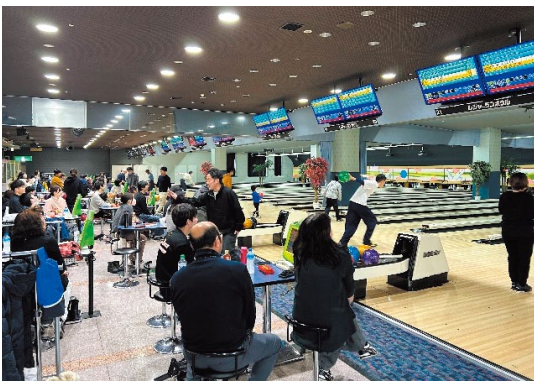


◆石川県学校生協

ボウリング大会&復興支援活動について

2025年2月8日(土)に第31
回学校生協ボウリング大会をレジ
ヤールンボウル藤江店において開
催しました。

参加者をご家族を含めて52名で
プロボウラーさながら真剣に投球
する方、スコアに関係なく楽しんで
いる方、初めてボウリングをす
る子どもたちなど、場内は笑顔や
歓声があふれていました。表彰式
では、上位チームに豪華賞品の授
与や、お楽しみ抽選会が行われ、
大盛況のうちに終了しました。



ボウリング大会の様子

組合員交流行事として毎年行わ
れていたボウリング大会は「新型
コロナウイルス」や「能登半島地
震」の影響で見送られ、今回が5
年ぶりの開催でしたが来年度以降
も行う予定です。



輪島市教育委員会において

学校生協は「能登半島地震」の
復興支援で、児童・生徒に災害で
無くした文房具類の提供をしてお
り、その活動は現在も継続してい
ます。また、全国の会員生協並び
に関係団体から支援金をお預かり
し、教育委員会を通じて、被災校
に第一次お見舞金としてお届けい
たしました。今後も引き続き支援
活動を続けてまいります。

(石川県学校生協
専務理事 中多 晃)



被団協代表団と記念撮影(日本原水協/ピースポート撮影)

日本被団協ノーベル平和賞受賞!

2024年12月10日、ノルウェー・オスロでノーベル平和賞の授賞式が開催されました。ここには日本被団協の役員の被爆者、関係者約30名が参加されました。同時に、これまで「被団協」を応援してきた被爆者、被爆2世・3世、関係団体・個人がともにオスロ現地を受賞を祝おうと「日本被団協ノーベル平和賞授賞式行動ツアー」が行われ、石川県から被爆者の西本多美子さん、そのサポート役として核戦争を防止する石川医師の会事務局の大田健志さんが参加されました。

日本被団協ノーベル平和賞は新たなスタート

核戦争を防止する石川医師の会

大田 健志

気温は常に氷点下、手袋をしていても指先が少し痛い・・・昨年12月、私がいたのはノルウェーの首都オスロでした。核戦争を防止する石川医師の会(県内の医師・歯科医師、医学生約60名の団体です)からの派遣で、日本被団協のノーベル平和賞授賞式にあわせて現地を訪問した金沢市在住の被爆者、西本多美子さんのサポート役として現地に同行させていただきました。

被団協代表団とは別行動のため授賞式会場には入れませんでした。が、首都オスロの街中にある公立

図書館のホールで、日本全国から集まった被爆者や支援者・スタッフ約50名と関心を持つオスロ市民と一緒に授賞式のパブリックビューイングを視聴しました。

授賞式では、記念の演奏、フリードネス委員長による言葉、そして日本被団協代表委員の田中熙巳氏による力強いスピーチ。同じオスロで歴史的瞬間を石川で長年被爆者運動に取り組まれた西本さんと共に迎えることができました。

また、同日にはノルウェー国会議事堂で議員13名の前に、西本多美子さんらによる被爆証言会(写真参照)も開催されました。



国会議員にお話しされる西本多美子さん(左)

4歳の時に広島で被爆した西本さんの証言を議員の皆さんも熱心に聞き入っておられ、ある一人の議員が同日夜のたいまつ行進セレモニーの場で西本さんの体験を引用して紹介するなど、79年前の記憶が、国境と言語を越えてノルウェーの国会議員の心に響いたことに感動しました。

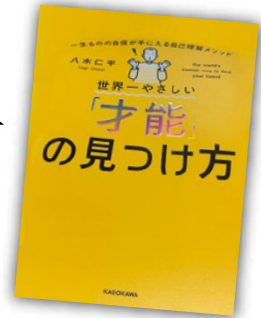
しかし、今年で原爆投下から80年、被爆者の高齢化も進み、直接被爆証言を聞く機会はさらに限られてきます。ノーベル平和賞の受賞は、ゴールではなく、核兵器のない世界への新たなスタートです。戦争の過ちを繰り返さないよう、被爆者の皆さんが歩んできた歴史や思いを未来に引き継いでいくため、世代も言語も国境も超えた協働を。そのためにも、これからも石川県生協連関係者の皆様とも一緒に歩んでいければ嬉しく思います。最後に、貴重な寄稿の機会をいただき、お礼申し上げます。

核戦争を防止する石川医師の会は、生協連が事務局を務める「反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会」の構成団体の一つです。

県生協連活動日誌

- 12 ● 12月 4日 消費者支援ネットワークいしかわ学習会、第3回消費者部会▶石川県女性センター
 - 12月 6日 2024年度 第2回東海北陸県連協議会▶岐阜県高山市
 - 12月10日 第3回三役会▶Web会議
 - 12月11日 ほくりく「食」と「農」の消費者ネット 意見交換会▶北陸農政局金沢野町庁舎
 - 12月12日 生協連創立60周年記念事業第1回実行委員会▶Web会議
 - 12月13日 令和6年度石川県農業活性化協議会第2回通常総会▶石川県農業会館
 - 12月17日 第2回ユニセフ理事会・評議員会▶石川県地場産業振興センター
 - 12月17日 労福協第7回理事会、懇親会▶フレンドパーク石川・招龍亭
-
- 1 ● 1月 6日 年始挨拶回り▶JA中央会
 - 1月 7日 連合石川・労福協「新春の集い」▶ANAクラウンプラザホテル金沢
 - 1月 8日 第5回生協連理事会▶石川県女性センター
 - 1月 9日 年始挨拶回り・能登半島地震義援金贈呈式▶石川県知事
 - 1月10日 年始挨拶回り▶北陸農政局
 - 1月14日 日本生協連賀詞交歓会▶東京
 - 1月14日 第3回広報委員会▶Web会議
 - 1月16日 年始挨拶回り▶金沢市長、市民局長
 - 1月17日 いしかわフードバンク・ネット理事会
 - 1月21日 第5回企画運営委員会▶Web会議
 - 1月22日 第4回消費者大会実行委員会▶Web会議
 - 1月23日 年始挨拶回り▶漁協、森連
 - 1月24日 石川県生協連行政懇談会▶地場産業振興センター
 - 1月25日 石川県知事「新年県政活動報告会」、金沢市長「新年互例会」▶ホテル日航金沢
 - 1月28日 第6回反核・平和おろづる市民のつどい実行委員会▶Web会議
 - 1月30日 関西地連運営委員会▶Web会議
 - 1月30日 県連活動推進会議▶大阪
-
- 2 ● 2月 4日 第4回三役会▶Web会議
 - 2月 5日 ろうふく支援財団お披露目会▶ホテル金沢
 - 2月 6日 第2回金沢市食の安全安心委員会▶金沢市保健所
 - 2月 6日 生協連創立60周年記念事業第2回実行委員会▶Web会議
 - 2月 7日 第2回石川県食品安全安心懇話会▶石川県庁会議室
 - 2月 7日 いしかわフードバンク・ネット運営委員会▶フレンドパーク石川
 - 2月19日 労福協第8回理事会▶フレンドパーク石川
 - 2月21日 令和6年度石川県災害対策ボランティア連絡会▶Web会議
 - 2月25日 被災地支援フォーラム▶Web会議
 - 2月27日 輪島市重蔵神社へ支援物資納入
-
- 3 ● 3月 5日 第5回理事会▶Web会議
 - 3月 5日 第4回非常用通信機器訓練
 - 3月 6日 石川県消費生活支援センター「消費者のつどい」▶消費生活支援センター
 - 3月10日 第7回反核・平和おろづる市民のつどい実行委員会▶Web会議
 - 3月18日 第6回企画運営委員会▶Web会議
 - 3月21日 生協連創立60周年記念事業第3回実行委員会▶Web会議
 - 3月26日 第2回役員研修会▶石川県地場産業振興センター

私のおススメの一冊



世界一やさしい『才能』の見つけ方

著者：八木 仁平

自分の「才能」は何だろうか、「才能」はあるのだろうかと考える事や悩んだ時期があると思います。才能は目に見えないものだからこそ「自分にはこの才能がある」と自信を持って言い切れる人は少ないと思いますが、この本には自信を持つために必要な事や才能を見つける時に目を向けるべき事が多く書かれています。短所の克服は一切必要無く、「長所を活かすのが先、次に短所をカバーする」という事になります。ここでいう「才能」とは世界一誰よりもできるという事では無く、自分を理解し何が得意なのかを知り、活かす事です。自分の才能を見つける事ができれば、他者の才能も見つける事ができるようになります。自分の才能について考えたい方や自分の部下や子供の才能を見つけ成長を促したい方にとってもおすすめの本です。

コープいしかわ 宅配事業部 中川 浩之

編集後記

昨年2024年を改めて振り返ってみると元日の能登半島地震、9月の奥能登豪雨、立て続けに災害が発生し大きな被害を受けました。正直、「笑っている場合ではない」生活を送っている方が1年経った今でも多くいらっしゃいます。

そんな中でも私自身「笑う力」を大事にしています。以前読んだ本の中に笑うことで「幸福感が増す」「自律神経のバランスが整う」「エイジングケア」「免疫力アップ」「血流と血糖値が良くなる」「脳の働きの向上」とプラスになる6つの効果があると書いてありました。

石川県のみんなが心から笑える日がくると信じて笑って過ごそうと思います。

生協連だより広報委員 石川県学校生協 加茂野琢也